

2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年 3月 15日

報告者	学科名	現代福祉学科	職名	准教授	氏名	周防 美智子
研究課題	地域子育て支援拠点連携アセスメントシートの効果測定と簡易版（スクリーニング版）の構築					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表	周防美智子	保健福祉学科・准教授	子ども家庭福祉	研究総括・研修会・調査分析・簡易版・冊子作成	
	分担者	中典子	中国学園大学・准教授	児童福祉	調査分析・簡易版作成	
		地域子育て支援拠点7施設長	総社・倉敷地域子育て支援拠点7施設	子育て支援	研究会・調査・シート作成	
研究実績の概要	<p>2020年度の全国児童相談所での児童虐待相談件数は過去最多となり、岡山県においても増加している。児童虐待の発生予防は、出産前後から子育て家庭に関わる早期の子育て支援が重要である。</p> <p>2017度に行った岡山県内地域子育て支援者へのアンケート調査では地域の子育て支援が、子育てへの不安や孤立感の軽減、子育て家庭の安定に好影響を示している一方で支援における「情報の可視化」「連携」の課題が明らかとなった。研究結果を、地域子育て支援者にフィードバックすると、「情報共有の視点、観察の視点、連携の指標となるものが欲しい。」という要望がでた。</p> <p>そこで2019年度地域献助成金費により、岡山県の児童虐待の発生予防、早期対応を目的に、出産前後から子育て支援を行う県内の地域子育て支援拠点における児童虐待予防プログラムとして『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の作成（冊子）を行い、県内の地域子育て支援拠点に冊子を配布した。</p> <p>本研究では、2019年度に作成した『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の普及活動とシート活用の効果測定を行い、簡易版（スクリーニング版）の構築を図りたいと考え研究を開始した。</p> <p>《研究方法》</p> <p>①県内の地域子育て支援拠点の施設長7名と研究者2名とで研究チーム立ち上げ （研究チームの研究会は月1～2回）</p> <p>1）『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の普及に向けて、研修会開催の調整を行う。</p> <p>2）『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の効果測定に関するアンケート調査の内容、方法について協議する。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>②各市における研修会（<u>集団インタビュー調査</u>） 『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』普及研修および集団インタビューとして参加者によるグループワークからシートの効果・課題などを抽出する。</p> <p>③<u>アンケート調査</u> 『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』使用における効果や課題について県内地域子育て支援拠点 150 施設の支援者を対象にアンケート調査を実施する。</p> <p>④<u>集団インタビュー、アンケート調査の結果から簡易版（スクリーニング版）を作成</u></p> <p>の予定で研究を始めたが、コロナ感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止措置の影響を受け、予定通りの研究会開催や調査が行えなかった。</p> <p>現在、2021 年 7 月オンライン研修時の参加者による支援や連携における課題の語りをもとに、研究チームで、地域子育て支援拠点における支援の視点に注目したアセスメントシートの検討、作成の段階である。研究は次年度も継続し、地域子育て支援拠点における効果的な支援、連携を目指し、『連携アセスメントシートの簡易版（スクリーニング版）』の作成に向け研究成果を出したいと考えている。</p>
<p>成果資料目録</p>	